

クボタ地球環境憲章 1992年制定

豊かな社会を実現した私たちは、一方で地球の温暖化や熱帯雨林の減少、砂漠化、酸性雨、海洋汚染など、地球環境問題の解決が最重要の社会的課題となっています。

そのためクボタは「地球環境」「日本の環境」「クボタの環境」が連続した一つのものであるという認識のもとに、環境保全に配慮した企業活動を展開しております。

この考えに立って「クボタ地球環境憲章」を制定いたしました。



基本理念

私たちは「地球的規模で持続的な発展が可能な社会」、「企業と市民が相互信頼のもとに共生する社会」の実現をめざし、地球環境の保全に配慮した企業活動を行うものとする。

行動指針

① 企業の社会的責任としての環境保全への貢献

- ① 社内環境管理規程を遵守する。
- ② 新事業開始段階における工場の立地をはじめ、その他事業活動の全段階において環境アセスメントを実施し、環境への影響度を適切に評価して、必要な対応策を講じる。
- ③ 技術・製品等の研究開発、設計段階において、当該技術・製品等の生産、流通、使用、廃棄の各段階での環境負荷、エネルギー消費をできるだけ低減するよう配慮する。
- ④ 環境保全性、エネルギー効率等に優れた生産技術の開発に努める。またリサイクル技術の開発等により資源の有効利用と廃棄物の削減を図る。
- ⑤ 原材料、部品、設備等の購入において、環境保全性、資源保護、再利用性、エネルギー効率等に優れたものを採用するように努める。
- ⑥ 配送、輸送システム等において、環境負荷、エネルギー消費をできるだけ低減するよう配慮する。また回収・リサイクルを盛り込んだ流通システムの導入に努める。

② 環境に貢献する技術・製品の提供

地球環境問題解決のために、無公害、リサイクル、省エネルギー、クリーンエネルギー使用等にかかわる革新的な技術と製品を開発し、社会に提供するよう努める。

③ 地域社会への貢献

- ① 地域環境の保全・美化活動等に地域社会の一員として参画する。
- ② 社員が自主的に地域の環境保全活動に参加することを支援する。

推進体制

「地球環境委員会」は、事業(本)部単位で組織する推進部会、及び全社横断で組織する分科会で構成し、地球環境保全活動に対する方針、計画、具体的実施項目を策定し、全社に周知徹底のうえ総合的に地球環境保全に貢献する活動を推進する。

クボタの環境経営における進むべき5つの方向

環境に優しい技術・製品開発を通じて

環境調和製品提供

トップランナー製品化、
製品アセスメント、LCA、製品の長寿命化、
製品のリサイクル、グリーン調達 等

製品開発、製品づくりを通じて

ゼロ・エミッション化

資源循環型産業構造の構築と実践、
再資源化率向上、
産廃の処理・処分量ゼロ化 等

製品開発、製品づくりを通じて

省エネ・省資源

小形・軽量・コンパクト化、
トップランナー製品化、
地球温暖化・資源枯渇防止 等

環境調和創造企業を めざして

(K・E・M・S)

クボタ環境マネジメントシステムの
充実と実践

経営貢献のために

環境管理能力向上

情報化、環境関連教育・啓発、
環境監査、環境情報開示・発信、環境会計 等

よりよい地域環境づくりのために
よりよい作業環境づくりのために

地域環境・作業環境保全

大気汚染防止、水質汚濁防止、
騒音防止、有害物質対策 等

全社環境基本方針

- ① クボタ環境マネジメントシステムの
充実と継続的改善
- ② 環境と調和する技術・製品の創造
- ③ 資源循環型事業活動の実践
- ④ 環境負荷の少ない事業活動の実践
- ⑤ 地域社会との共生と貢献

重点推進事項

- ① 環境調和製品、環境貢献型製品の創出
- ② ISO 14001 認証取得の推進
- ③ ゼロ・エミッション化の推進
- ④ 省エネルギー、省資源活動等の推進
- ⑤ 法遵守・自主管理値による活動並びに
地域社会との共生活動の推進